

ラビ・ジョナサン・マゴネット教授学術講演会

と き：2021年6月11日（金）18:00～19:30

と ころ：Zoomにて実施

講 師：Jonathan Magonet

（レオ・ベックコレッジ名誉教授、ユダヤ教ラビ、
西南学院大学名誉博士）

通 訳：須藤伊知郎（西南学院大学神学部教授）

演 題：「ディベートする二つの詩編

一王としての神？ 父としての神？」

対 象：学生教職員・一般（視聴無料、Google フォームから事前の申込要）

主 催：学術研究所／共 催：神学部

申込先：お申込は、下記の Google フォームから行ってください。

<https://forms.gle/TK4rMCNeEERZpMfq8>

（※フォームからの入力がかまく行かない場合は神学部 日原広志
hihara@seinan-gu.ac.jp へ email で申し込んで下さい。）

※定員との関係で場合により抽選を行い、残念ながら参加をお断りする場合がございます。参加可能の方には後日 Zoom の URL をメールでお知らせします。メールでの連絡がない場合、今回はご参加いただけないことをご了承下さい。

世界的な聖書学者であり、改革派ユダヤ教の指導者でもあるジョナサン・マゴネット先生をお迎えして、ロンドンから Zoom で、ヘブライ語聖書『詩編』についてお話しをいただきます。皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

【講師プロフィール】

1942年ロンドン生まれ。医師として働いていたが、25歳でレオ・ベックコレッジに入学。71年ラビ（ユダヤ教教師）に任職。ヘブライ大学（イスラエル）およびハイデルベルク大学（ドイツ）で学び、哲学博士号を得る。74年より母校レオ・ベックコレッジで教鞭をとり、特に85-2005年は学長をつとめる。イスラエルとドイツの諸都市で客員教授を歴任。改革派ユダヤ教 Progressive Judaism を代表する学者として知られる。2014年に本学名誉博士号授与。

【講演の概要】 ヘブライ語聖書に多くの様々な各書が構成され編集された長い期間を考えると、それらの内部で相互の注解や論争の痕跡を見出させることは何ら驚くべきことではありません。特定の章句、特に愛と憐みの神的属性についての神によるモーセへの啓示（出エジプト記 34：6-7）は反響させられ、預言書と詩編に選択的に含まれています。2つの詩編—103 編と 145 編—は、神とイスラエルの民との契約において神の愛がどのように表現されるかについて、根本的に異なる解釈を提供しています。

お問い合わせ先：西南学院大学学術研究所 Tel：092-823-2501

